



一般質問 9月会議

Q ビックルーフ滝沢の利活用状況は
A プレオープン以来
約40万人に利用されています

Q ごみ処理広域化で、処理場1カ所に
するのは集約のし過ぎでは
A 複数案を検討し、1カ所集約が
経済面、環境面で有利です

Q 介護と医療二丁ズを
併せ持つ要介護者や認知
症高齢者が増加する中、
医療・介護連携の必要性
はさらに高まります。

Q 在宅ボックス滝沢の事業内容は
包括的かつ継続的な在宅医療を
めざす在宅医療連携拠点です

Q サービスによる安全
や安心の変化、生活の質
は向上したか。

Q 生活や人生の質を高
めるための対応は

Q 今後、市はどんな手
立てをする必要があるか。

Q 7・8月と水害が連
続発生した菓子川など、
河川のハード対策・応急
対策が急務だが、その対
策は。

Q ごみ減量化の数値的な根拠は
A 8%の減量化効果が
期待されます

Q 農業委員と推進委員の連携は
A 農地利用最適化の推進のため
現場活動を連携して取り組みます

Q 乳がん検診の受診率は
A 28年度は7835人が受診し
受診率は26%です



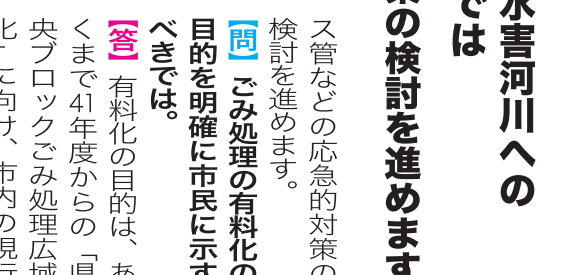
Q 今年、新規事業とし
て「ごみ減量化推進事業」
を総合計画前期基本計画
実行計画に登載すること
とし、9月会議に補正予
算も計上します。

Q 幅広く関係者との情
報交換等行い、調査・研
究します。

Q 市民にごみ処理の負
担を課するのは税金の二重
取りでは。

Q 農地の農業上の利用増
進が図られるよう農地の
利用調整やあっせん等を
行って遊休農地の発生防
止・解消に努めます。

Q スマート農業推進と
今後の取り組みの考えは。



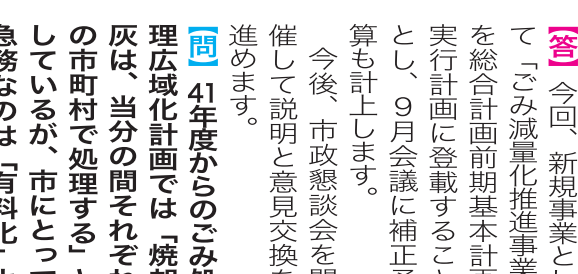
Q 市民に減量化を促す
前に資源化を進めるなど
市の取り組みは。

Q 市内各地域での集団
資源回収に奨励金を交付
し、広報にサイクルコー
ナーを設けあっせんして
います。

Q 草木や生ごみは家畜
の飼料、堆肥の活用など
減量化の余地は十分ある
ことから、関係者との協
議に取り組み考えは。

Q 改正農業委員会法で
は、主に合議体としての
意思決定を行うのが農業
委員です。担当地域の農
地等の最適化利用の推進
を担うのが農地利用最
適化推進委員です。

Q 市独自の追加検診は、
乳腺が豊富で乳房エック
ス線検査では写りにくい
腫瘍発見のため乳房超音
波検査との併用検査を実
施しています。



Q 年金受給資格期間10
年に短縮したことに伴う
サポート体制は。

Q 関係各課と連携を取り
対応します

Q 滝沢スイカの地理的表示
保護制度の進ちょくは
関係機関と協力して
取り組みます

Q 滝沢スイカの地理的
表示保護制度(G)取得
への進ちょく状況は。

Q 今年も滝沢スイカが
多くのメディアに取り上
げられ、年々ブランド化
が進んでいます。



Q 滝沢スイカの地理的表示
保護制度の進ちょくは
関係機関と協力して
取り組みます

Q 滝沢スイカの地理的表示
保護制度の進ちょくは
関係機関と協力して
取り組みます

Q 滝沢スイカの地理的表示
保護制度の進ちょくは
関係機関と協力して
取り組みます

Q 滝沢スイカの地理的表示
保護制度の進ちょくは
関係機関と協力して
取り組みます

Q 滝沢スイカの地理的表示
保護制度の進ちょくは
関係機関と協力して
取り組みます

【地産地消条例調査特別委員会】

目的 地産地消条例の制定に向けた必要な事項の調査を行います。

委員数 9人

委員長 角掛 邦彦 副委員長 齋藤 明

委員 高橋 辰雄 日向 清一 川村 守 桜井 博義
相原 孝彦 村松 一 山谷 仁

【ごみ処理有料化に関する調査特別委員会】

目的 ごみ処理有料化に関する調査を行います。

委員数 9人

委員長 佐藤 澄子 副委員長 小田島 清美

委員 稲荷場 裕 仲田 孝行 武田 哲 日向 裕子
藤原 治 工藤 勝則 遠藤 秀鬼

第64回岩手地区 議会議員大会開催

7月28日葛巻町で第64回岩手地区議会議員大会が開催されました。

当日は滝沢市のほか、
一、広域的な観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
二、地域振興の観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
三、農業農村整備に係る財源確保について

これらのほか、県立学校の存続について(葛巻町の議員が出席し、大会宣言のあと広域課題として道路整備などの議案が審議されました。滝沢市からは次の3議案が提出されました。)

一、広域的な観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
二、地域振興の観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
三、農業農村整備に係る財源確保について

7月28日葛巻町で第64回岩手地区議会議員大会が開催されました。

当日は滝沢市のほか、
一、広域的な観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
二、地域振興の観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
三、農業農村整備に係る財源確保について

これらのほか、県立学校の存続について(葛巻町の議員が出席し、大会宣言のあと広域課題として道路整備などの議案が審議されました。滝沢市からは次の3議案が提出されました。)

一、広域的な観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
二、地域振興の観点からの道路整備促進について(国道28号一本木バイパスの早期完成)
三、農業農村整備に係る財源確保について



多くの議員が一堂に会しました

要望を明瞭する
桜井産業建設常任委員長